



佐藤照彦議員

水産振興

カキの出荷状況は

前年比54～77%

は年内の策定を目指している。

- 質問**
- ① 地域営漁計画の策定は。
 - ② カキの出荷状況は。
 - ③ 秋サケ漁の実績と回帰率向上の取り組みは。
 - ④ アワビ、ウニ増殖の見通しと密漁対策は。
 - ⑤ 資源と大型トロールの影響を調査し、必要な規制を国・県に要請を。
- 沼崎町長**
- ① 19年度に策定することになっている。山田湾、織笠
 - ② 10月までの金額で前年比54～77%となっており、ノロウイルス風評被害の影響が残っている。
 - ③ 11月末で山田市場は重量で133%、金額で132%、船越市場は重量金額とも77%である。
 - ④ アワビは昨年28・8tと前年比247%に増加した。今年11月は前年を上



カキの出荷に備え船上で作業する様子（山田湾）

回っている。ウニは天然資源が豊富であり、漁獲

- による間引きが重要である。密漁対策は重要であり、県は漁業調整規則を改正し、罰則強化を検討している。
- ⑤ 町は沖合底引き網漁業と釣り漁業者が共存できるように県水産技術センターに漁具改良などの研究を要望している。

町の考えを聞く



今後の利活用方法について医療局との話し合いと耐震判定結果が待たれる「旧山田病院」

県立病院

医師確保の見通しは

引き続き国・県に要請

- 質問**
- ① 県立山田病院の医師確保の見通しは。
 - ② 旧山田病院の跡地利用についての県医療局との話し合い状況、耐震調査状況は。

③ 本年の出生数の見通しは。新年度の子育て支援策として考えていることは。

沼崎町長
① 医師確保は難しい状況である。今までも町独自で要請しているが、今後さ

らに町村会などを通じて、国・県に要請していく。
② 町は当初、更地での買入れから増築棟部分の利活用も検討したいとして、耐震調査の承諾を得て診断を委託した。12月下旬に判定結果が通知される見込みである。その結果を基に、活用の方向が定まれば、正式に増築棟の活用について申し入れたい。
③ 本年の出生数は120名を見込んでいます。新年度は自園型の病児・病後児保育事業の実施を検討している。